

報道機関の連絡先:

Ernie Knewitz
(732) 524-1090
media-relations@its.jnj.com

Jake Sargent
(202) 569-5086
JSargen3@ITS.JNJ.com

投資家の連絡先:

Christopher DeLorefice
(732) 524-2955

Lisa Romanko
(732) 524-2034

**FDAによって既に検証されたのと同容器内のジョンソン ベビーパウダーに対する
15の追加検査でアスベスト不検出**

*2つの第三者検査機関が自主回収されたロットに対して新たに60を超える検査を
実施し、アスベストが含まれていないことを確認*

ニュージャージー州ニューブランズウィック(2019年10月29日)- Johnson & Johnson Consumer Inc. (「弊社」)は本日、FDAによって既に検査されたのと同容器のジョンソン ベビーパウダーについて新たに15の検査を実施し、ベビーパウダーからアスベストが検出されなかったことを発表しました。10月18日に[弊社が自主回収した](#)ジョンソン ベビーパウダーの1ロット(ロット番号: 22318RB)から採取したサンプルに対して実施した48の追加検査においても、当該商品にアスベストが含まれていないことが確認されました。これらの検査は、弊社による継続的な検査および調査の一環として、2つの第三者検査機関によって実施されました。

弊社は、「厳格な第三者機関による検査により、ジョンソン ベビーパウダーにはアスベストが含まれていないことが確認されました。弊社は、自社製品の安全性を確保します」と表明いたしました。

追加検査で陽性の検査結果が実験室の汚染に起因する可能性を実証

自主回収後、弊社は2つの第三者検査機関に委託し、透過型電子顕微鏡(TEM)、粉末X線回析(XRD)、偏光顕微鏡(PLM)を用いて、ジョンソン ベビーパウダーの自主回収されたロットに対する大規模な検査を迅速に実施しました。

これらの検査機関のひとつでは、標準的な準備室の利用に加え、予備室を利用することによって、通常プロトコルからの逸脱を図りました。予備室では、5つのサンプルを用意し、そのうちの3つからアスベストが検出されました。このような検査結果に基づき、検査機関が調査を実施したところ、サンプルの準備中に使用していたポータブル型空調装置がアスベストで汚染されていたことが分かりました。標準的な準備室で作業した場合、いかなるサンプルからもアスベストは検出されませんでした。

このような調査結果から、陽性の検査結果に関する調査の重要性が明らかになりました。アスベスト分析における懸念として汚染を挙げている国際的な標準化団体である、米国試験材料協会(ASTM)によると([ASTM 6620-19、「数量に基づくアスベスト検出の限界に関する標準手順」セクション5.1.3\(iii\)](#))、綿密な安全対策が講じられている場合でも、サンプルの分別、保管、準備、分析段階において、アスベストに汚染される可能性があります。

弊社は、上記の検査に関する報告書を公開しています。[FactsAboutTalc.com](https://www.factsabouttalc.com) をご参照ください。

数十年におよぶ製品テストで、ジョンソン ベビーパウダーからアスベストは不検出

弊社は、厳格な検査基準を整備し、化粧品用タルクが安全であることを保証いたします。過去 40 年にわたり、先月実施された FDA による検査など何千もの検査が実施されてきました。これらの検査は、ジョンソン ベビーパウダーにアスベストが含まれていないことを幾度となく確認しています。弊社のタルクは、業界基準を上回る弊社の厳格な仕様に適合することが確認された鉱山からのものです。弊社および弊社サプライヤーは定期的に検査を実施し、タルクにアスベストが含まれていないことを確認しています。加えて様々な独立検査機関や大学、全世界の保健機関により、弊社のタルクにはアスベストが含まれていないことが確認されました。

133 年間、Johnson & Johnson のファミリー企業は、弊社製品を使用する方々のニーズと健康を最優先することに努めており、今後もその点に変わりはありません。

先般の発表のとおり、弊社は慎重を期して、ジョンソン ベビーパウダーのロット #22318RB を 10 月 18 日に自主回収いたしました。自主回収についてご質問がある場合は、Johnson & Johnson Consumer Inc. のケアセンター (www.johnsonsbaby.com または電話 +1 (866) 565-2229) までお問い合わせください。

将来性の見通しに関する記述についての投資家向けの注記: 本プレスリリースには、弊社のベビーパウダーの 1 ロットの自主回収に関連した追加検査の結果に関する、1995 年私的証券訴訟改革法で定義された「将来性の見通しに関する記述」が含まれます。これら将来性に関する記述に依存しないよう注意する必要があります。本プレスリリース中の将来性に関する記述は、将来の事象についての現在の期待に基づきます。基盤となる推測が不正確であることが証明された場合、または既知・未知のリスク、または不確実性が実現した場合、実際の結果は実質的に JJC および／または Johnson & Johnson の予測・予想とは異なることがあります。リスクおよび不確実性には、製品回収または規制当局の措置をもたらす製品の効能または安全性の懸念、製品責任賠償要求に関連するものを含む、製品の重大な有害事象についての訴訟または政府の措置、新製品および既存の製品の商業的な成功の不確実性、当社が戦略計画を成功裏に実行できること、社内またはサプライチェーン内の製造の困難または遅延、適用される法律および規制の変更、ヘルスケア製品およびサービスの購入者の行動および支出パターンの変化、政府機関によるヘルスケア業界の精査の増加が含まれますが、それらに限定されません。これらのリスクおよび不確実性、その他の要因の詳細なリストおよび説明は、「将来性の見通しに関する記述についての注意書」および「項目 1A」と見出しの付いたセクションに含まれる、2018 年 12 月 30 日に終了した営業年度の Form 10-K にあるジョンソン・エンド・ジョンソンの年次報告書に記載されています。「リスク要因」は、弊社が直近で提出した Form 10-Q にある四半期報告書、および弊社がその後証券取引委員会に提出した文書内に記載されています。

これら提出書類のコピーは、オンラインで(www.sec.gov、www.jnj.com)、または Johnson & Johnson からの要請で入手することができます。本リリース内での将来性の見通しに関する記述は、本リリース日時点での発言に過ぎません。Johnson & Johnson Consumer Inc. および Johnson & Johnson のいずれも、新しい情報または将来の出来事・発展の結果として、将来性に関する記述を更新することを約束しません。弊社は、本プレスリリースの内容の一部または全部に基づき行われた、または行われなかった訴訟に関するすべての責任を明示的に否認します。